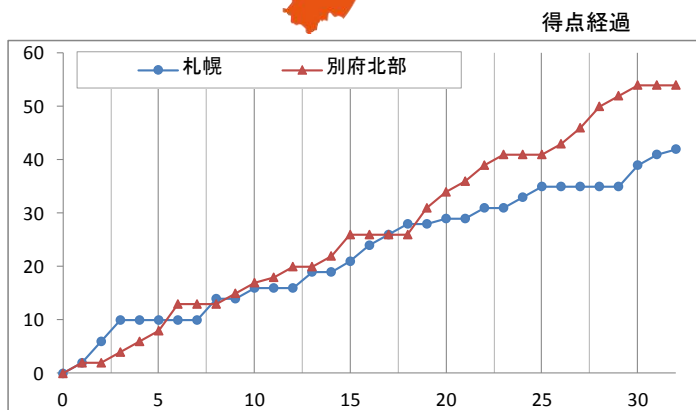




大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	一関市総合体育館																	
日時	2015年8月24日(月)	10:55																
コート	Bコート 第2試合																	
カテゴリー	男 決勝トーナメント1回戦																	
主審	杉浦 元一																	
副審	水木 順仁																	
TEAM A	TEAM B																	
札幌 (北海道)	42 ●	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	14	1st	13	10	2nd	13	9	3rd	15	9	4th	13	—			54 ○ 別府北部 (大分県)
14	1st	13																
10	2nd	13																
9	3rd	15																
9	4th	13																
—																		



BOXスコア

TEAM A		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	原田 一真	×	15	0	7	1	3	
5	土田 航平	×	7	0	3	1	3	
6	安藤 海斗	×	13	1	4	2	0	
7	大淵 楽人	×	3	1	0	0	1	
8	小角 侑太郎	×	4	0	2	0	0	
9	長尾 拓音	DNP	0	0	0	0	0	
10	赤井 真央	DNP	0	0	0	0	0	
11	葛西 晴貴	DNP	0	0	0	0	0	
12	平井 雄大	DNP	0	0	0	0	0	
13	行澤 陸	DNP	0	0	0	0	0	
14	味噌 惇人	DNP	0	0	0	0	0	
15	池田 柁斗	DNP	0	0	0	0	0	
16	阿部 遥輝	DNP	0	0	0	0	0	
17	檜佐 尚斗	DNP	0	0	0	0	0	
18	佐々木 伸啓	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	競 啓太							
合計			42	2	16	4	7	

TEAM B		別府北部						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	久原 大弥	×	14	4	1	0	0	
5	山崎 蒔志	×	13	0	5	3	0	
6	日高 俊輔	×	10	0	5	0	3	
7	川井 健太	DNP	0	0	0	0	0	
8	齊藤 勇佑	/	0	0	0	0	0	
9	草本 修叶	/	0	0	0	0	0	
10	藪内 鉄馬	/	0	0	0	0	1	
11	久恒 嵐史	×	6	0	3	0	1	
12	安部 明眞	×	11	1	4	0	1	
13	加藤 大智	DNP	0	0	0	0	0	
14	池田 優	DNP	0	0	0	0	0	
15	浦田 琉衣	DNP	0	0	0	0	0	
16	近藤 怜己	DNP	0	0	0	0	0	
17	木下 岳人	DNP	0	0	0	0	0	
18	石橋 佑生琴	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	石田 博							
合計			54	5	18	3	6	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

予選Aリーグ2位の札幌とBリーグ1位の別府北部との一戦。1Q、両チームマンツーマンDefでスタート。お互いに点を取り合う中、1on1やブレイクで積極的なDefを見せる札幌が優勢な立ち上がり。残り2分半、#4の3Pが決まり逆転すると別府北部の流れになる。残り57秒、札幌がタイムアウトの後、連続得点で逆転し、14-13で終了。2Qのスタート、別府北部#5のゴール下での1on1、リバウンドからのシュートが連続して決まり、再度逆転する。対する札幌は勢いづいた別府北部のDefを攻めあぐね、ターンオーバーからの得点を許し5点差となったところでタイムアウト。その後お互いにミドルシュートが決まり、残り1分を切って札幌#7の3Pで2点差に迫り24-26で終了。

後半3Qは、札幌の速い攻撃が決まり再び逆転してスタート。対する別府北部は#12のミドルシュートで同点とすると、#4の連続3Pが決まり28-34と逆転。さらに#4の3P、スティールからのブレイクで31-41となったところで札幌がタイムアウト。流れを引き戻したい札幌だがシュートが決まらず点差が縮まらないまま33-41で終了。4Q立ち上がり、何とか追いつきたい札幌は#8のポストを起点としたプレーで得点する。しかし、別府北部#6のミドルシュート、#12の3Pが決まり突き放しにかかる35-50となったところで札幌がタイムアウト。Defをオールコートに切り替え、前から激しく当たると別府北部にミスが出る。ダブルチームでボールを奪いにくる札幌に対し、別府北部は時間を使ってボールを回し、追いつがる札幌を42-54で下した。点を取り合う展開の中で別府北部のリバウンドの強さと、#4の3P、#6のミドルシュートなど外からのシュートの確率の高さが光る試合となった。